トップに聞く

「営・サ一体活動」展開

北関東ニチユ株式会社　村田 宏明社長

北関東ニチユ本社

北関東ニチユ株式会社（本社・栃木県宇都宮市川田町793−3、社長・村田宏明氏）は、昭和46年設立以来、日本輸送機、ニチユMHIフォークリフトの北関東地区販売代理店として、主力商品であるバッテリー式フォークリフト及び物流システム、動力用・設備用バッテリーを販売、今日に至っている。村田社長に、同地区における物流の現状と今後の事業内容の展開について聞いた。

―経営方針についてまずお聞かせください。

村田　経営の基本は、営・サ一体活動です。当社は昨年10月に創立40周年を迎えました。その根源にあるのはサービス連動型の地域密着型営業戦略、つまり営・サ一体活動です。

―御社の主要取引先は北関東地区、即ち栃木県、群馬県の大手主要工場約1500社と伺っています。業種的にはどのようになっているのでしょうか。

村田　業態的には製造業が大半を占めています。両県とも自動車関連が多く、部品メーカーを含めると、自動車関連の工場は相当な数になります。

自動車関連以外では、パナソニック、シャープ、ソニーケミカルといった家電関連の工場が結構あります。また、ここ1〜2年の間に、首都圏、関西圏の大手物流企業が北関東地区に進出してきています。

―御社の営業・サービス拠点は。

村田　現在、8支店体制を取っています。昭和47年に宇都宮市に本社社屋工場を建設したあと、前橋、伊勢崎、館林、西那須野、小山、高崎、太田といったように、本社から離れた地域から計画的に出先を整備してきました。また、昨年10月に、40周年を記念して宇都宮市に社屋工場を新設して、生産を海外へ移す動きは今後、ますます強まる可能性があります。そうなると、大手の製造業に依存していたのでは我々の商売も成り立たないということになります。もちろん我が国には日本固有のものづくりもあれば技術もあります。まいという厳しい状況に追い込まれています。従って、生産を海外へ移す動きは今後、ますます強まる可能性があります。そうなると、大手の製造業に依存していたのでは我々の商売も成り立たないということになります。

―大手製造業は生産拠点の海外シフトを加速しています。影響は…。

村田　国内の製造業は、少子高齢化や円高、規制等の問題を抱え、国内生産では採算が取れなくなってきめの細かいサービスがあります。先ほど「営・サ一体活動が経営の基本である」と言いましたが、日本人にしか出来ない、きめの細かいサービスに徹していきたいと思っています。社屋工場を新設した狙いの中には、そうしたサービスの強化も含まれています。

―最後になりましたが、今後の抱負を聞かせてください。

村田　日本輸送機㈱とニチユMHIフォークリフトのディーラーとして、北関東地域のお客様にニチユと三菱ブランドをもっともっと認知されたいということが一つ。もう一つは、すべてのお客様に「北関東ニチユとつき合ってよかった」と喜んで頂ける会社でありたいと思っています。

当社の今年の基本方針は「すべてはお客様のために　ホット・サービス　ハート・セールス」です。

「すべてはお客様のために」と語る村田社長

昨年10月創立40周年

―よろしければ具体的にお聞かせください。

村田　お客様に点検作業の現場を実際に見てもらうことも一つのサービスです。また、お客様が困っていることがあれば当社の施設を使って講習会を開いてもらう、或いは実地で色々な商品を見てもらう―そういうきめ細かいサービスを目指しています。

フォークリフトに限らず、物流機器はこれからも進化していくでしょう。しかし、機械力だけに頼っていたのではモノは売れません。問題は、商品力と地域に密着したサービス力をいかにマッチングさせるか、お客様のニーズを捉えることの出来る能力をいかに高めていくかです。それには営業、サービスの能力を一体的にとらえてレベルアップを図ることに尽きます。サービスは営業の付属と考えている向きもあるかもしれないが、決してそうではない。営・サは飽くまで一体です。

営業マンのレベルが落ちたらサービスもレベルが落ちます。また、サービスマンのレベルが落ちたら、営業のレベルが落ちます。これは私の考える根本原則です。今フォークリフトディーラーにあってはサービス事業が収益の大きな柱になっています。営業、サービスが一体となって常にレベルアップする努力をしないと生き残れません。

―物流システムはいかがですか。

村田　物流システムに関しては、これからも進化を続けていくと思います。ニチユグループも次世代型物流システム機器をどんどん開発していくと考えられます。そのなかにあって、我々の成しえることは何かというと、営業・サービスの現場において、メーカー、ディーラー一体型営業活動を展開し、きめの細かい地域密着型の営・サ一体活動に徹することです。

北関東ニチユ株式会社沿革

〈昭和〉
- 46年　日本輸送機株式会社、栃木県総販売代理店として資本金500万円、社名ニチユ栃木フォークリフト株式会社設立
- 47年　宇都宮市に本社社屋工場を建設。日本輸送機株式会社、日本電池株式会社、栃木県、群馬県総販売代理店として、前橋市に群馬営業所開設、社名北関東ニチユフォークリフト株式会社と改める
- 57年　資本金1,500万円に増資する。群馬営業所を群馬支店に変更、伊勢崎市に社屋工場を新築移転する
- 61年　資本金2,500万円に増資する。館林支店開設

〈平成〉
- 2年　西那須野町に社屋工場を新築、西那須野支店開設
- 7年　小山市に社屋工場を新設、小山支店開設
- 9年　北関東ニチユフォークリフト株式会社を社名北関東ニチユ株式会社に改める。高崎市に社屋工場を新設、高崎支店開設
- 13年　鹿沼市に社屋工場を新設、鹿沼支店開設
- 19年　太田市に社屋工場を新設、太田支店開設
- 23年　宇都宮市に社屋工場を新設、本社・宇都宮支店を移転開設

ニチユ

AUTOMATED GUIDED VEHICLE FOR FACTORY

生産工場内の自動化を促進する最先端のニチユ無人搬送システム

▲改良を重ねた結果、可能10度の傾斜の登坂も可能になった ムジンカー

▲様々な防水対策を行うことで、屋外で力を発揮するフォークオート

▲荷積みを自動で行うラックフォークオート 工場内の荷物出荷までの作業を省力化

バッテリーフォークの特性を100%活かし、ステアリング、走行、リフト操作などの完全自動化を実現。
個々の作業内容に即したプログラムを組み込むことができ、地上コンピュータとのオンライン化にも対応。
また、倉庫内をはじめ屋外走行や高登坂等の、各作業環境に合う車両をフレキシブルに設計し、
商品づくりにいかすことで満足度の高い無人フォークリフトシステムをご提供しています。

フォークオート

ラックフォークオート

ムジンカーmulti

日本輸送機株式会社　本社・京都事業所 ☎075-956-8688　東京支店 ☎03-3779-5601　http://www.nichiyunet.co.jp/

北関東ニチユ株式会社　本社 〒321-0111 宇都宮市川田町793-3 ☎028-636-3100 Fax028-636-3102　http://www.kkt-nichiyu.co.jp/